

静岡大学イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）

地域と大学 第30号

Newsletter No.30, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

子どもの育ちに関わるおとなの学びあいを支える大学 —実践研究ラウンドテーブルin静岡を組織する—

教職大学院准教授 渋江 かさね

昨年度(2014年1月25日)と今年度(2014年11月23日)に、「実践研究ラウンドテーブルin静岡」(以下、ラウンドテーブル)を開催した。主催は本学教育学部と、昨年4月に発足した教育学研究科附属教員養成・研修高度化推進センター(以下、高度化センター)である(ただし、昨年度は高度化センター発足前のため、主催は教育学部のみであった)。

ラウンドテーブルは、6名程度の小グループに分かれて行う。「子どもの育ちに関わるおとなたちが、所属や立場や地域を超えて、取り組んでいる実践をじっくり語り聴きあうことを通して、関係性を編みつつ学びあう場、協働につながるネットワークを形成する場」と言えよう。このように説明すると、「ラウンドテーブルとは『熟議(協働を目指した対話)』のことか」と、思われた人もいるかもしれない。確かに共通する点もある。しかし、大きな違い(どちらがいい・悪いという議論ではない)は、「取り組んでいる実践を語り聴きあう」が前提となっており、その延長線上に意見交換がある点と考える。

本学でのラウンドテーブル実施の発端は、教育学部の教員養成改革にある。改革の基本的方向性は「静岡県内の教育関連諸機関及び国内外の教員養成系大学と連携し、‘Act Globally, Nationally & Locally’の観点から教員養成の高度化を行う」となっている。ラウンドテーブルは、これを積み重ねてきている福井大学教職大学院に加え、教師教育改革コラボレーション(教員養成系大学と研究者養成系大学より構成)との連携による「ナショナル」な取り組みである。かつ、県内の教育関連諸機関と連携し教員養成と研修を考え実践する第

一步として、「腹を割って意見交換ができる場」が必要との判断で実施された。

以上の経緯により、昨年度のラウンドテーブルは、県内や県外の教諭、管理職、指導主事と大学教員の参加を念頭に置き企画した。しかし、今年度のラウンドテーブルを企画する中で論点となったのは、「子どもの育ちに関わるつぎのようなおとな——公民館職員、地域活動実践者、ボランティアコーディネーター、PTA役員、学校支援地域本部コーディネーターなど」や「教育学部で教員や社会教育の仕事につくことを志す学部生」も参加してほしい、であった。教育委員会、学校、大学という関係者のみで教員養成と研修のあり方を考えあうのではなく、もう少し広い視野で——領域は違っても子どもの育ちに関わっている・将来関わりたい、という共通性の中で——考えあうことが大事であるとの考えに至った。他方で教諭や指導主事ではない「子どもの育ちに関わるおとな」が実践を語って、学びあいが成りたつかについては、懸念もあった。しかし当日は、こうしたおとなによる語りを、教諭がみずから引きつけて実践をとらえ返す様子や、共通するテーマについて意見交換する様子がうかがえた。



ラウンドテーブルは始まったばかりで、発展途上にある。貴地域連携生涯学習部門には、行政職としてあるいは市民として、子どもの育ちに関わる人びとや団

体とつながりつつ、ラウンドテーブルを実りある場にしていくためのお力添えをいただけると、幸いである。

地域課題解決支援プロジェクト進捗状況

2013年度から開始した「地域課題解決支援プロジェクト」は、これまで大学との接点がなかった地域や団体から課題を公募し、新たな地域連携・貢献活動につなげようという取り組みです。普段大学とのコンタクトがない地域をも巻き込んだ事業です。

このプロジェクトは、大学が「地域課題」を定義し解決策を提示するのではなく、地域から地域の現状と課題を学び、大学の教育・研究を拡充・深化させることを目指した活動です（詳細はhttp://www.lc.shizuoka.ac.jp/areastudies_index.htmlでご覧いただけます）。

2014年度は、以下の課題について取り組みました。

●公共施設マネジメントへの取組（御前崎市役所）

人文社会科学部・川瀬憲子研究室が協力し、市役所および施設へのヒアリング調査、ゼミ開催等を行いました。また成果報告として参加学生による共同論文集がまとめられました。

●地域住民のニーズ把握（静岡市北部生涯学習センター美和分館）

①質問紙によるニーズ調査の企画・実施・分析についてイノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）が協力し、一部の成果については報告書としてまとめました（阿部耕也・小澤拓真「生涯学習施設と地域をつなぐために（Ⅰ）（Ⅱ）」『静岡大学生涯学習教育研究』16-17号）。

②みのり大学美和学級「市民配布アンケートの結果による考察」（2014年6月18日開催）において、「地域住民のニーズ把握」調査の分析結果を地域連携生涯学習部門・阿部教員が発表し、60名余りの参加者と意見交換を行いました。

●国内外に向けての情報発信（静岡市立登呂博物館）

STV（静岡大学登呂博物館ボランティア）は、博物館教育普及を目的に静岡市立登呂博物館において活動を行っている学生ボランティアです。主な活動内容は登呂博物館のマスコットキャラクター・トロベアを使った演出で、定期的にトロベアに変身し、館内を巡り来館者との交流を行っています。また、登呂博物館

に発案・企画といった形でアプローチを行いクイズ大会やスタンプラリー等を実施しています。

●伊豆半島ジオパーク進捗管理のための評価指標および調査方法の確立（伊豆半島ジオパーク推進協議会）

伊豆半島地域振興の取組みについて、伊豆の観光振興の将来像を探ることをテーマとしたフォーラムを開催しました（詳細はP6を参照）。

●歴史的建造物の保全（松崎町役場）、公共施設マネジメントへの取組（御前崎市役所）

2月11日（水）松崎町生涯学習センターにて公開シンポジウムを開催しました（詳細はP6を参照）。午前中の松崎町職員の案内による街歩きワークショップに続き、事例報告では、学生支援センター宇賀田特任教授、静大フューチャーセンター、人文社会科学部・川瀬ゼミの学生らが、静岡市の商店街の活性化に取り組んだ実績や、御前崎市と浜岡原発との関わりを調査したフィールドワークの成果を紹介しました。学生や町職員によるパネルディスカッションも行い、地域の自然や食材、町並みなどの素材を取り上げながら、今後の取り組み方針を話し合いました。まちづくりに取り組んでいる住民、地元高校の生徒・教員からも質問・意見が出るなど、約60名の参加者と活発に交流を行いました。

●住みたい地区を創る（夢の里みつかわ あぐりい）、高齢者の生き甲斐づくり（袋井市三川自治会連合会）

2月19日、袋井市「三川自治会連合会」「夢の里みつかわ あぐりい」の方々を、静岡文化芸術大学の学生3名とともに訪ね、ワークショップを行いました。袋井市および三川公民館の方々にも同席いただいて資料やデータをもとに、三川地区の課題と可能性をうかがい、意見交換をしました。

●その他の地域課題についても、学内外の教員、学生、留学生などが参加・参画し、解決支援の取組が進行中です。参加者を募っていますので、興味・関心のある方はお問い合わせください。

2014年度静岡大学公開講座が終了しました

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	延べ 人数	受講料	部局
施設栽培・環境制御技術講習会 [全5回]	農学研究科准教授・切岩祥和 (株)ヒノン農業取締役社長・影山雅也 静岡県農業技術研究所野菜科科长・大石直記 ダブルエム研究所所長・狩野 敦 農学研究科教授・糠谷 明 (株)アームズ取締役・三倉直巳	4/16、5/7、6/4・25、 7/16(水) 12:45～15:55	静岡キャンパス	一般市民	15	75	3,600	農
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (初級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表・小泉成行	5/10(土) 9:30～16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	25	3,000	教
私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術専門職員・増田幸直 農学研究科准教授・八幡昌紀 技術部技術職員・周藤美希 農学研究科教授・稲垣栄洋	5/13、7/15、9/16、 11/25、3/3(火) 10:00～11:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	50	10,000	技
体験!大学の化学実験[全3回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満	8/9(土)、8/10 (日)、8/23(土) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生以上	30	43	無料	グ
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫	8/27(水)10:00～ 17:00、8/28(木) 10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	34	無料	グ
食と健康を科学するII [全3回]	農学研究科教授・森田達也 グリーン科学技術研究所/農学研究科教授・河岸洋和 農学研究科准教授・茶山和敏	9/13・20・27(土) 14:00～16:00	沼津市民文化 センター	一般市民	50	95	無料	イ
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (中級編)	教育学部教授・村越 真 プロアドベンチャーレーサー・宮内佐季子	9/15(月) 9:30～16:30	静岡市郊外 (屋外)	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で6km程度を歩ける方	18	18	4,000	教
静大キャンパス探訪～静岡キャンパスの自然と歴史～ [全4回]	静岡大学名誉教授・和田秀樹 理学研究科准教授・徳岡 徹 教育学部講師・加藤英明 人文社会科学研究所教授・篠原和大	10/4・11・18・25 (土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生 (中学生以下は保護者同伴)	20	53	無料	キ
児童・青年の社会的包摂を考える [全6回]	人文社会科学研究所教授・荻野達史 人文社会科学研究所准教授・白井千晶 人文社会科学研究所教授・江口昌克 NPO 法人サンフォレスト代表・三森重則 人文社会科学研究所准教授・吉田 崇 静岡市職員	10/17(金)、10/20 (月)、10/27 (月)、11/4(火)、 11/10(月)、11/17 (月) 18:30～20:00	静岡市産学 交流センター (B-nest)	一般市民、教育 関係者、福祉・ 心理臨床スタッフ、 行政職員など	45	152	1,600	人
米粉を食べよう! ～イネの調製・製粉教室～	農学研究科助教・浅井辰夫 農学部特任助教・飛奈宏幸 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	11/1(土) 9:00～12:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	小学生以上	20	9	600	農
情報学アラカルト講座 2014	情報学研究科教授・八柳良次郎 情報学研究科准教授・高口鉄平 情報学研究科教授・中谷広正	11/8(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	一般市民	各 50	60	無料	情
トレイルランナーのためのランニングとナビゲーションスキル [全2回]	プロトレイルランナー・山田高志 教育学部教授・村越 真	11/15(土) 10:00～18:00、 11/16(日) 9:00～16:00	県立朝霧野外 活動センター	ロードで5km以上を 連続して6分/kmで 走れる方	20	17	8,000	教

【主催欄凡例】

地 = イノベーション社会連携推進機構 (地域連携生涯学習部門)
人 = 人文社会科学部
教 = 教育学部
農 = 農学部
情 = 情報学部
キ = キャンパスミュージアム
グ = グリーン科学技術研究所
技 = 技術部

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学では、大学創立60周年を機に、読売新聞東京本社静岡支局、中日新聞東海本社、コープしずおか（現ユーコープ）と連携した市民向け講座を開講し、2014年度で6年目を迎えました。

継続して開講してきたため、いずれも市民の間に浸透・定着し、受講者の数は増加しています。

来年度も開講を計画していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「静岡学事始め－静岡の文化・風土の成り立ちを考える－」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	7/5（土）	駿府大御所10年～平和時代の礎を築く～	落合偉洲（久能山東照宮博物館館長）	172
2	8/2（土）	静岡県における過去数千年間の地震・津波の履歴	北村晃寿（静岡大学大学院理学研究科教授）	188
3	9/6（土）	家康のグランドデザインと静岡	小和田哲男（静岡大学名誉教授）	205
4	10/11（土）	幕末維新と静岡の民衆	今村直樹（静岡大学人文社会科学部准教授）	161
5	11/1（土）	世界文化遺産を育んだ富士山の自然～三保の松原から青木ヶ原樹海まで～	増澤武弘（静岡大学理学部特任教授）	141

■会場：あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「浜松発！未来の社会」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	10/18（土）	電子技術でつくる新しい目～新機能イメージセンサの開発と応用～	川人祥二（静岡大学電子工学研究所教授）	48
2	11/8（土）	地球への帰還～大気圏突入環境を模擬できるレーザープラズマ風洞の開発～	松井 信（静岡大学大学院工学研究科准教授）	48
3	12/13（土）	花も進化する～花は分子によって環境に適応している～	渡辺修治（静岡大学創造科学技術大学院教授）	48
4	1/10（土）	新たな学び方～知識創造型の教育への転換～	大島 純（静岡大学大学院情報学研究科教授）	62
5	2/14（土）	光でがんを勝つ～低侵襲がん光治療～	平川和貴（静岡大学大学院工学研究科准教授）	96

■会場：静岡大学浜松キャンパス

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

3 静岡大学・ユーコープ連携講座「食と健康を科学するⅡ」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	9/13（土）	食物繊維の多様な機能	森田達也（静岡大学農学研究科教授）	34
2	9/20（土）	キノコが農業を変える？～フェアリーリング（妖精の輪）を作るキノコから得られた物質で作物増産～	河岸洋和（静岡大学グリーン科学技術研究所教授）	30
3	9/27（土）	機能性食品を考える～カテキン、カフェイン、ビフィズス菌～	茶山和敏（静岡大学農学研究科准教授）	31

■会場：沼津市民文化センター

■参加費：無料

■連携先：生活協同組合ユーコープ

■その他：上記講座に加え、静岡と浜松を会場として以下のとおり実施した。

- [静岡会場]「機能性食品を考える～カテキン、カフェイン、ビフィズス菌～」(2/3) 於：静岡市北部生涯学習センター美和分館
「食品化学の世界 なぜ体によいか」(2/4) 於：静岡市葵生涯学習センター
「キノコが農業を変える?～フェアリーリング(妖精の輪)を作るキノコから得られた物質で作物増産」(2/10)
於：静岡市北部生涯学習センター美和分館
[浜松会場]「機能性食品を考える～カテキン、カフェイン、ビフィズス菌～」(2/14) 於：静岡大学浜松キャンパス



静岡大学・読売新聞連続市民講座
「静岡学事始め」チラシ



静岡大学・中日新聞連携講座
「浜松発!未来の社会」チラシ



静岡大学・ユークロップ連携講座
「食と健康を科学するII」チラシ

2014年度下半期（10月～3月）の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学ぶって楽しい!～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学ぶって楽しい!」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

- 日時：2014年10月19日（日）9:10～12:15
- プログラム：

[講義①]「食生活と健康」講師：竹下温子（静岡大学教育学部家政教育教室准教授）

[講義②]「あらためて、世界文化遺産富士山の魅力!」講師：大高康正（静岡県文化・観光部文化学術局富士山世界遺産センター整備課准教授）

- 参加費：無料

- 参加者数：122人
- 会場：静岡大学大学会館3Fホール
- 企画：静岡県障害者就労研究会



公開講演会

「卒業後のデザインー知的障がい者の主体的な社会参加を願ってー」

知的障がい者の生涯学習を始めとする自立と社会参加の促進を図るために、教育関係者および知的障がい者の生活支援や就労支援に係わっている方々に向けて

講演会を開催しました。障がい者自らが卒業後の生活デザインを意識し、具体的に立案することの意義は大きく、その生活デザインを描くために学校教育で育てなければならない教育内容や指導・支援のあり方を講師の豊富な取り組み事例から学び検討しました。

- ・日時：2014年10月19日（日）13:30～15:30
- ・講師：森脇 勤（京都市教育委員会指導部総合育成支援課専門主事、京都女子大学非常勤講師）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：80人
- ・会場：静岡大学学生会館3Fホール
- ・企画：静岡県障害者就労研究会

博物館フォーラム

「伊豆半島における観光振興と住民参加による博物館活動」

地域課題解決支援プロジェクトのモデル事業に選定された伊豆半島ジオパーク推進協議会からの課題への取り組みとして、博物館フォーラムを開催しました。伊豆地域は2015年の世界ジオパーク加盟認定に向けて整備を進めており、観光による地域振興の可能性を検討しました。また翌日のワークショップでは参加者が実際に下田の市街地を歩き、文化・自然・地域遺産を結び付けたモデルコースの作成に取り組みしました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、研究紀要『静岡大学生涯学習教育研究』で別途報告する予定です。

【フォーラム】

- ・日時：2015年1月31日（土）14:00～16:00
- ・プログラム：

〔講演①〕「熱海市観光動線実態調査にみる観光客の特性」講師：狩野美知子（静岡大学人文社会科学部准教授）

〔講演②〕「エコミュージアムからみた地域社会と博物館の連携」講師：石川宏之（静岡大学イノベーション社会連携推進機構准教授）

- ・参加費：無料
- ・参加者数：40人
- ・会場：伊東市観光会館第2会議室

【ジオワークショップ】

- ・日時：2015年2月1日（日）10:00～14:00
- ・プログラム：

〔ミニ講座〕「エコミュージアムからみた地域社会と博物館の連携」講師：石川宏之（静岡大学イノベーション社会連携推進機構准教授）

〔下田まちあるき〕案内人：石川宏之（静岡大学イノベーション社会連携推進機構准教授）、斎藤 武（伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド）、鈴木雄介（伊豆半島ジオパーク推進協議会研究員）

- ・参加費：無料
- ・参加者数：20人
- ・会場：道の駅「開国下田みなと」



公開シンポジウム

「地域課題と学習ネットワーク～地域と大学で何ができるか～」

「学習ネットワークと生涯学習」をテーマに実施する公開シンポジウムも、今回で17回目を数えました。

地域の様々な課題を公募し、その解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」が立ち上がり、県内各地で活動を始めました。今回、応募自治体である松崎町で公開シンポジウムを開き、大学生が関わった県内の取り組み事例を報告しながら地域と大学がコラボすることによって何ができるかを検討しました。実際に松崎町でまちづくりに取り組んでいる住民や地元高校生などからも質問や意見が出るなど、活発な交流の場となりました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、研究紀要『静岡大学生涯学習教育研究』で別途報告する予定です。

- ・日時：2015年2月11日（水）13:15～16:15
- ・会場：松崎町生涯学習センター4階ふれあいホール
- ・プログラム：

①「学生が参画する地域連携の取り組み」報告：宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター特任教授）、静大フューチャーセンター運営学生

②「原発に依存しないまちづくり～御前崎市のフィールド調査から～」報告：川瀬憲子（静岡大学人文社会科学部教授）、川瀬研究室・地方財政論ゼミ生

- ・コーディネーター：阿部耕也（静岡大学イノベーション社会連携推進機構教授）

- ・参加費：無料
- ・参加者数：53人



公開シンポジウムに先立って行われた「松崎町歩きワークショップ」の様子

共催事業

生涯学習指導者研修事業

「連携をもとに地域課題に取り組む公民館」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施するものです。

公民館を取り巻く環境は近年大きく変化し、社会教育・生涯学習の場として、また地域づくりの拠点として、これまで以上に地域の住民・機関・団体との連携・協働が求められています。地域のもつ人材、文化、ネットワークなどを活かしながら、地域全体の総合的な取り組みが必要な課題と向き合い、住民・諸機関・団体相互の連携・学び合いの中で、課題解決を図る様々な事例に学び、これからの公民館の姿を考えました。

- ・日時：2014年12月9日（火）10:20～16:00
- ・会場：静岡市興津生涯学習交流館
- ・プログラム：
 - ①基調講演「アートを活かしたまちづくり」講師：片桐隆嗣（東北芸術工科大学教授）
 - ②実践事例報告
 - ・「住みよいふる里「東浅羽」の再生」報告者：原幹夫（袋井市浅羽東公民館長）
 - ・「大学－地域連携の実践事例 地域課題解決支援プロジェクトの目指すもの」報告者：阿部耕也（静岡大学イノベーション社会連携推進機構教授）
 - ③グループワークとディスカッション
- ・コメンテーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加者数：61人

- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）、静岡県公民館連絡協議会

その他の地域連携事業

支援事業

「SSサッカー教室」第2クール

静岡大学と（株）エスパルスは、2012年3月に包括連携協定を締結しました。この協定に基づき、両者が協働し、様々な連携協働事業を行っています。

今春、静岡大学静岡キャンパスのサッカー・ラグビー場の人工芝化が完了したのを機に、新しくなったサッカー・ラグビー場を活用した地域貢献事業を実施しました。

- ・日時：2014年9月5日（金）～11月7日（金）
17:00～18:00
- ・対象：小学1・2年生
- ・会場：静岡大学静岡キャンパスサッカー・ラグビー場

支援事業

「哲学カフェ@しぞ〜か」

哲学カフェは、日常の「？」をみんなで自由に語り合う場です。“哲学”というと難しそうですが特別な知識はいりません。コーヒーを飲みながら、一般市民・学生を含む性別、年代、職業を異にする参加者が、立場を超えて、日常抱くさまざまな疑問について討議を行います。

- ・日時：2014年10月4日（土）
- ・テーマ：「自衛権を考える―国を守るとはどういうことか」
- ・参加費：無料
- ・参加者数：34人
- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）

企画協力事業

静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座

「学びが支える健康な暮らし～長寿社会を豊かに生きる～」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が主催して全5回の講座として実施するもので、このうち第2回が静岡大学の担当回でした。

・日時：2014年9月13日（土）～10月11日（土）

10:00～11:30

・プログラム：

①9/13（土）「希望ある人生について考えてみましょう」

講師：見平 隆（静岡英和学院大学教授）

②9/20（土）「非栄養素の栄養学」

講師：森田 達也（静岡大学農学研究科教授）

③9/27（土）「睡眠から考える健康」

講師：青田 安史（常葉大学准教授）

④10/4（土）「食品安全をめぐる諸問題とその対策」

講師：山本 茂貴（東海大学教授）

⑤10/11（土）「健康寿命は口腔機能の活性化から」

講師：鈴木 温子（静岡県立大学准教授）

・参加費：無料

・会場：アイセル21

・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、
東海大学、常葉大学、静岡市

焼津市大村公民館一般公開講座 「太陽光発電講座」

・日時：2015年3月19日（木）10:00～11:00

・講師：松尾廣伸（静岡大学大学院工学研究科助教）

・参加費：無料

・会場：焼津市大村公民館

・主催：焼津市大村公民館

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2014年度の前・後学期別の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
前学期	後学期	合計	前学期	後学期	合計
201	206	407	161	148	309



企画実施委員会

当部門には、「企画実施委員会」が組織されています。当部門の運営や組織、さらに本学の地域連携・生涯学習のあり方等について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。

委員名簿（2014年度）

阿部 耕也	部門長・教授
石川 宏之	部門専任教員・准教授
清水 一男	部門専任教員・准教授
満井 義政	機構特任教授
土居 英二	機構特任教授
水谷 洋一	人文社会科学部准教授
渋谷かさね	教職大学院准教授
山田 文康	情報学研究科教授
三重野 哲	理学研究科教授

戸田三津夫	工学研究科准教授
富田 涼都	農学研究科助教
Steven Urick	大学教育センター講師
福井 孝典	学術情報部研究協力課長
大谷 悦子	部門パート事務職員
牧野 宏美	部門パート事務職員

地域と大学 第30号

発行日——2015年3月20日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
（地域連携生涯学習部門）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
（事務局別館2階）

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

（事務局）学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4317